



2012年1月 新年号

# さくら

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

## 新年のご挨拶



偕行会グループ 透析事業本部長  
(医社) 偕翔会 理事長



さいたまほのかクリニック 院長 堀川 和裕

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

皆様、どのような2012年をお迎えになったでしょうか？ 昨年も多くの透析をお受けになっているかたがた、そのご家族の皆様、様々な分野の医療関係者のかたたちから、たくさんのご支援とご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

### [2011年を振り返って～災害と透析医療～]

昨年3月11日の東日本大震災とそれに引き続いて起こった福島県原発事故は、長く私たちの記憶に残ることと思います。被災した地域で透析をお受けになっているかたたちは治療を受けられなくなり、他の地域への移動を余儀なくされました。私ども偕行会グループでもさいたまほのかクリニックの26名をはじめとして、東京都・静岡県・愛知県の各施設で、被災された患者さんの治療をお引き受けしました。

今回の震災への対応で、地震や台風などの自然災害への備えの重要性をあらためて痛感いたしました。大規模な災害が発生したときに被災をされたかたを受け入れること、そして反対に、私たちの地域が被災をして治療の継続ができなくなったときに、迅速に透析の継続を引き受けてくれる施設を探して、そこまでの移動の手段などを確保することなどが大きな課題です。日本透析医学会や日本

透析医会、それらの地方組織でもあらためて災害時の透析医療の確保に重点をおいた対策が協議されています。

この点に関して私ども透析医療事業部の対応は、後ほど項をあらためて書かせていただきます。

#### 〔偕行会グループの現状と今後〕

すでにご承知のことかと思いますが、名古屋共立病院は医師と看護師など医療スタッフの退職があったため、入院病床の一部閉鎖と一部診療科の休診が行われます。私ども偕行会の透析施設で治療をお受けになったださっている皆様にはご迷惑とご心配をおかけいたしますが、しばらくの間ご容赦をお願いいたします。名古屋共立病院では、新たに偕行会で働く仲間として勤務してくれる複数の医師がほぼ確定し、新規の看護職員募集も進行しております。これにより、そう遠くない時期に以前と同じ入院病床のオープンと、透析をお受けになっているかたの合併症対策をより一層充実したものとする体制を整えることができると考えております。

一方、昨年4月より城西病院の運営を名古屋市より継承し、あらたに偕行会城西病院としてスタートを切らせていただきました。本年6月には120床の新しい病院が完成する予定ですが、透析をお受けになっているかたにもさまざまな貢献をできるものと考えております。

名古屋共立病院は急性期型の病院ですので、長期間の入院はなかなかお引き受けしにくいのですが、偕行会城西病院は入院治療が長期間にわたると予想される患者さんも引き受けさせていただけるよう体制を整えていきます。ですから、お体の調子により通院透析が困難になったかたなどの入院透析も受け入れさせていただける病院をめざしています。

偕行会グループの病院は、名古屋共立病院、偕行会リハビリテーション病院、そして偕行会城西病院と3つになり、皆様の様々なニーズにお応えできるようそれぞれの病院が特色を出すために工夫をして参ります。

在宅医療事業部の取り組みも偕行会グループの大きな柱のひとつです。訪問看護や訪問介護、グループホームの開設など、医療と介護を結ぶ役割を担えるように、スタッフの充実を図っていきます。

〔透析医療事業部の取り組み〕

さて、透析医療事業部ですが、これまで同様より安全でより快適な透析治療を提供できるようスタッフ一同努力をして参ります。またフットケアをはじめとする合併症対策に、ますます力を注いでいきたいと考えております。

さらにシャントの維持とトラブル時の対応を充実させるために、医師と看護師の体制を充実できるよう準備をして参ります。

そして、上に書きましたように災害対策について重点的に取り組んでいきたいと思っております。地震などの大規模災害が起こったときに、透析治療を受けられなくなった皆さんをお引き受けできる体制を整備しておくことが大切です。また、私たちが被災をしたときに、透析を必要としている皆様の治療が滞ることなく継続されるように準備しておくことも重要な課題です。このことのためは、私たち偕行会グループの病院・クリニックだけではなく、近隣の医療機関、さらには遠隔地の透析施設などとの連絡を密に  
してきちんとしたネットワークを構築しなければなりません。さらには行政サイドとの連携も重要になってきます。そのために、相当の時間がかかるものと思いますが、根気強く継続的な取り組みとしていきたいと思っております。



長い文章にお付き合いいただき、ありがとうございました。今年も皆様の安全で快適な透析ライフをサポートできるように、偕行会グループ透析医療事業部のスタッフ一同、立ち止まることなくがんばってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

\*\*\*\*\*

.....  
これまで月刊誌として発行しておりました「さくら」ですが、本年より年 3~4 回の季刊誌として  
リニューアルすることとなりました。今後とも、よろしくお願いいたします。 さくら編集部  
.....